

---

# 記憶屋 ある日の幸成と茂久

国見遙

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

記憶屋 ある日の幸成と茂久

### 【著者名】

N1504D

### 【作者名】 国見遙

### 【あらすじ】

幸成と茂久の下らない会話です。ちなみに・・・実話を元に書きました（笑）

(前書き)

記憶屋本編とは基本的に関係ありません。『トト承下さ』。

「もしもし」

「よお、幸成」

「よおじやねえよ。何か用か?」

「冷たいなあ幸成は。いつもクールだよねキミは。少しは暖かい心をだな・・・」

「黙れ。お前みたいに暇人じやないんだよオレは」

「つたぐ・・・。ある情報を仕入れたから教えてやろうと思つたのになあ」

「なんだ?」

「おしえなーい」

「なんだよ?」

「おしえなーい」

「もついい。切るぞ」

「わあ、ウソウソ。教える。教えるから切らないで」

「茂久、お前はいい奴だよ。でもな、その常にふざけた性格は大い

「お前の欠点だ。直したほうがいいぞ」

「幸成、お前だつていい奴だよ。でもなあ、その常に異常なほどの  
冷静さとこゝうか冷酷さとこゝうか何とこゝうか」

「見切り発車だな」

「ええ～次は、オチ。オチド！」  
「ええ～ます」

「ちょっと弱いな」

「お氣に召せないよ、ひで」

「次はパンチの効いたやつを頼むよ」

「それならば、先日インターネットをしていて・・・」

「妹にオナニー見られたんだろう？何度も聞いたよそれ」

「そつだつけ？『何してお兄ちゃん？』に『乾布摩擦』って答  
えたオレは天才だと思つんだが」

「よかつたよ。お前が友達で」

「なんだよ。急に褒めんなよ。いくらオレが面白いからっても」

「兄弟じゃなくて本当によかつた。大恥だ」

「いくらオレでも傷ついた」

「知らん。んで、なんだよ、ある情報つって？」

「ん。オレはもしかしたら女にモテるのかもしれない」

「・・・で？」

「で?って・・・。もう少しオレのこと興味を持つてくれてもいいんじゃない?」

「突拍子もない」

「まづかやひ。周囲の評価を聞いてみる。オレの評価最高だぞ」

「お前の話なんて聞いたことないね」

「ファック」

「なにがファックだ。慣れない英語使つなよ」

「オレって彼女できると思ひへ?」

「その気になれば」

「幸成は?彼女作るきないの?」

「ああな」

「むう。答えてくれてもいいじゃないチコーコーボーイ」

「黙れ」

「オー。ゴーメンナサイイ

「なんでカタコトなんだよ」

「さあて、乾布摩擦でもして寝るかな

「おい、結局何の電話だったんだ?」

「ヒマツブージデースヨー」

「・・・ファツク」

「ユキナリクンモ、イッショ一、レツツ、カンパマーサツ

ブツツ

ツーツー

ツーツー

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1504d/>

記憶屋 ある日の幸成と茂久

2010年11月5日02時08分発行